

20周年記念事業で大盛況

「第14回じゃがいもまつり」

4月中旬から、ジャガイモ収穫の最盛期を迎えた町内では、町制施行20周年事業も兼ねて、ジャガイモに関連する複数のイベントを実施しました。

18日～23日は、小浜崎古墳公園周辺のほ場で「掘り取りウィーク」を、20日は、夢追い長島花フェスタ会場で「じゃがいも掘り取り体験」を、27日は、同会場で「第14回じゃがいもまつり」を行い期間中に約1万8千人の来場者がありました。



あいさつする
京田委員長



「じゃがいもまつり」掘り取り体験



「夢追い長島花フェスタ」掘り取り体験



掘り取りウィーク

27日のじゃがいもまつりでは、9時の開場を前にジャガイモの詰め放題や掘り取り体験の受付テント前などに参加者が列をなしてにぎわいました。

オープニングセレモニーで、鹿児島いずみ農業協同組合の京田堤樹実行委員長が「美味しいジャガイモをたくさん持ち帰り、宣伝隊として町のジャガイモ産業と一緒に盛り上げてほしい」とあいさつし開幕。メイ
ンステージでは「CheerS R G E M」と「ケ・アロハ」のダンスが披露されたほか、じゃんけんマンのじゃんけん大会やかるた取り大会などが催され盛り上がり
ました。

詰め放題に参加した柿山蒼空さん（薩摩川内市）は「詰め込めるスペースがもつとあった。作戦を練って挑めばよかった」と悔し
そうな表情を浮かべながらも「フライドポテトにして食べるのが楽しみ」と笑顔
を見せました。

会場に併設する町農林水産物処理加工施設前では、20周年記念事業の一環で「牛丼まつり」も行われ、町内



みんなでじゃんけん



ステージを盛り上げたじゃんけんマン



袋いっぱい「詰め放題」

産の牛肉を使ったミニ牛丼千食が振る舞われました。牛丼を食べた内野佑星さん（鹿児島市）は「長蛇の列に並んだかいがあった。長島の牛肉が好きになった」と満足した表情でした。



家族で美味しく牛丼まつり



ジャガイモ無料配布に集まった来場者